



2026年8月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 飛 鳥 貴 雄
(コード番号：7044 東証スタンダード)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 根 来 伸 吉
(TEL 03-6362-6831)

2026年12月期 第2四半期（連結・個別）業績予想と

実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日に公表いたしました、2026年12月期第2四半期（連結・個別）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

(1) 2026年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異（2026年1月1日～2026年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	8,899	4	△8	△24	△3円44銭
今回実績値（B）	8,970	112	99	79	11円7銭
増減額（B－A）	71	107	107	103	
増減率（％）	0.8	—	—	—	
（ご参考）前第2四半期実績 （2025年12月期第2四半期）	8,337	38	213	148	20円83銭

(2) 2026年12月期第2四半期個別業績予想と実績値との差異（2026年1月1日～2026年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	7,407	△17	1	0円24銭
今回実績値（B）	7,366	67	97	13円62銭
増減額（B－A）	△40	84	95	
増減率（％）	△0.5	—	—	
（ご参考）前第2四半期実績 （2025年12月期第2四半期）	7,793	87	89	12円52銭

2. 差異の理由

(1) 連結業績

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益については、マーケティングDX事業における大手クライアントが好調に推移したほか、連結子会社を含めブランディング領域に関する取

引額が順調に増加している上、エッセンシャルワーカーDX事業及びビジネスクリエイション事業の3事業のそれぞれが順調に成長したことから計画を上回りました。

(2) 個別業績

経常利益及び中間純利益については、連結業績と同様に、マーケティングDX事業における大手クライアントが好調に推移したほか、連結子会社を含めブランディング領域に関する取引額が順調に増加している上、エッセンシャルワーカーDX事業についても順調に成長していることから当初の計画を上回りました。

なお、2026年12月期の通期（連結・個別）業績予想につきましては、前回発表予想から変更はございません。第2四半期累計期間の業績は計画を大幅に上回って推移いたしました。この利益の上振れ分を、将来の飛躍的な成長に向けた戦略的投資へ振り向ける方針といたしました。

具体的には、2028年の中期経営方針の達成の蓋然性を上げるため、下期において「ビジネスクリエイション事業における積極的な広告宣伝の展開」、「採用強化を含めた抜本的な組織改革」、「AIの活用推進を通じた競争力強化」等の先行投資を集中的に実施いたします。下期においてはこれらの実行に伴うコスト増を見込むものの、次期以降のトップライン成長と強靱な経営基盤の構築に向けた不可欠な投資であり、中長期的な株主価値の最大化に大きく資するものと考えております。

以 上